

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	15H05740	研究期間	平成27年度～平成31年度
研究課題名	偏微分方程式の係数決定逆問題の革新的解決と応用	研究代表者 (所属・職) (平成30年3月現在)	山本 昌宏 (東京大学・大学院数理科学研究科・教授)

【平成30年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)		
<p>本研究は、偏微分方程式の係数決定逆問題及び科学技術分野からの問題提起とその応用を目的としている。逆問題に対する数学解析の革新的かつ応用可能な理論創出を目指しており、優れた課題設定である。</p> <p>研究は着実に進んでおり、多くの論文、著書の出版、講演を行い、また、国際共同研究も多数実施している。例えば、楕円方程式の係数決定逆問題における取得すべき事前情報の最小化や流体の方程式に対するカーレマン評価の導出など、今後の研究の拠り所となる成果を上げている。現実問題への応用事例・社会連携など多くの取組を行っており、さらにそれを分かりやすく社会に発信している。</p>		